

第12回上田市花と緑のまちづくりコンクール審査結果

平成19年に始まった本コンクールも、平成29年で11回目の開催となりました。第11回目も、団体部門（50平方メートル未満・プランターの部、50平方メートル以上の部）、個人部門、学校部門の4部門で審査が行なわれました。第11回は全体で40件の応募があり、8月23日に一次審査（書類・写真・動画審査）、9月1日に二次審査（現地審査）を行い、13件の受賞者を決定しました。

表彰式は、12月16日に「信州上田 景観・花と緑 まちづくりフォーラム」内で行われました。

団体部門(50平方メートル未満・プランターの部)

◆最優秀賞

フラワークラブ大畑（真田町本原）



国道144号沿い、藤沢古墳の隣にある花壇です。しっかりと手入れがされているため、審査が終わった後もコンクール当日のような状態が常に保たれておりました。今年は同じ枠に配置を調整しながら2種類の花を混植したりと工夫が見られます。審査員から赤のサルビア、百日草、ダリア、ペゴニアの生育が素晴らしく、非常に完成度が高いと評価をいただきました。

◆優秀賞

川西花いっぱい倶楽部（小泉）



川西花いっぱい倶楽部は、川西公民館が受講生を募集して活動する講座です。直線的にデザインされた花壇が多い中、特徴的な形の花壇に合わせたデザインの変化がとても楽しく見えます。三角形の花壇も形を生かしたデザインで、色の組み合わせが素晴らしく目を引きまします。

◆奨励賞

御嶽堂上組フラワーガーデン



主要地方道別所丸子線沿い、御嶽堂上組交差点横の花壇です。区入口の目印や、区民のウォーキングコースになっています。通学路でもあり小学生に花の美しさを楽しんでもらいたいという願いが込められています。昨年同様日々草を色違いに植えることで見られるコントラストが素晴らしく、センスの良さが出ています。

団体部門(50平方メートル以上の部)

◆最優秀賞 荻窪花の会（東内）



国道254号沿い、平井寺トンネルを過ぎ、荻窪の集落の入り口の花壇です。種類の違う花を同じ列に植えているにもかかわらず高低差が無く平均的で栽培技術の高さが覗えます。デザインの変化で道路からの見栄えが素晴らしく、審査員から完全に文句なしという評価をいただいております。

◆優秀賞 下本郷地区花と緑の街づくり協議会（本郷）



主要地方道上田丸子線築地下之郷バイパス沿いにある長い花壇です。小学生による道路アダプト清掃、侍学園の生徒や自治会役員の協力で美しい花壇が保たれています。今年は特に百日草の生育が素晴らしいと高い評価を受けておりました。長年素晴らしい花壇を作り続けており、地域住民の意識の高さを感じます。

◆奨励賞 尾野山長寿会（生田）



信州国際音楽村の南側、県道上田塩川線の交差点横にある花壇です。日々草、ペチュニアの生育、色合いが素晴らしく、道行く人を楽しませています。花壇真ん中の紫のペチュニアが全体のバランスを締めています。広々とした美しい花壇で音楽村に向かう人を楽しませています。

◆奨励賞 茂沢長生会（生田）



県道上田塩川線、茂沢公民館近く。音楽村に登る手前の道碑公園の隣にある花壇で今回で3回目の花植えです。花壇全体の生育が均一で、直線的に植えられた花は配色も良好です。金魚草のピンクと黄色が素晴らしく高い評価を受けておりました。みんなの憩いの場になるようにという想いが込められています。

個人部門

◆最優秀賞

中島 明邸（御所）



圧倒的ボリュームの花屋敷です。小学生の通学路になっており、一人でも多くの児童さんがこの花を見て感動してほしいと願いが込められています。今年は特に西側に力が入って入りました。ポーチユカ、ジニア等良く管理されていると非常に高い評価を得ました。毎年この水準を保ち続ける努力に頭が下がります。

◆優秀賞

黒澤 朝男邸（本郷）



まずペチュニアの鉢が目を引きます。

今年も自家取り種からのペチュニアとさし芽のサフィニアを並べています。入口の鳥かごを利用した吊り鉢、車庫横の日日草のウォールバスケット、建物壁面の額縁風鉢置場等、細かい箇所の工夫が目を引きます。通りがかりの人や地域の花好きな人たちと花談義をするなど地域の憩いの場にもなっています。

◆優秀賞

滝沢 裕子邸（大屋）



今年は鉢植えに力を入れ、道から見える角度から見栄えがするようにとペチュニアの鉢植えを置いています。手間を惜まず、花を傷めないようにとホースを使わず全てじょうろで水をあげているそうです。初雪草等のこぼれ種を利用し自然な雰囲気を出しています。

◆奨励賞

鎌田 里美邸（天神）



今年は全体的に花の量を増やしましたが、周囲との景観を意識し、緑と花の割合を計算したり、限られたスペースを有効にと立体的に飾る等随所に工夫がみられるお庭です。一つ一つの小物や容器はセンスが良い物が使用されています。昨年審査員からもらったアドバイスを受け、表札前の花を増やすなど工夫が見られます。

学校部門

◆最優秀賞 塩田中学校（中野）



学級花壇づくりを始めて5年目となりました。地元支援ボランティア「しおだっ子応援団」に支えていただきながらの活動で地域との関わりも深まっています。花壇は全て各学級の緑化委員が中心になりデザインを決定し、担任の先生と協力して苗を植栽し、毎日の水やり草取り、花殻摘みを行ってきました。今年はテニスコート前の3年生の花壇だけでなく、全学年の花壇で応募されております。

◆優秀賞 真田中学校（真田町長）



生徒棟の南側にある「メイン花壇」です。今年も生徒がアイデアを出し合いデザインされました。半円の形を生かし、曲線上に植栽がされており、若者らしい素晴らしいデザインの花壇となっています。半円のメイン花壇だけではなく、芝に合わせ一直線に並べられているサルビアのプランターもとても迫力があります

◆奨励賞 丸子北中学校丸子コスモス大学花壇作り学科（生田）



大量の石の片づけから始めた花壇作り。全校生徒が13講座に分かれて学習する総合学習の時間を利用して学年の枠を超えて活動しています。花壇から水場までの距離がとても長く今年の夏は大変な苦勞がありました。学校に近い花壇に木枠を設けたり、サークルを利用して植栽する等、工夫が見られます。